

10
15号

広報くじ

平成 25 年 (2013 年) No. 183



人気のブロック玩具コーナー。ぴったり 100% の作品作りにみんな一生懸命

デイリリーアートサーカスが久慈湊小でワークショップ

アートが元気届ける



上/生き生きとした表情と自由な発想で板に絵を描く児童たち
下/どんなにぶつかっても割れない大きな風船人形も展示されました

アートで被災地に元気を届ける活動をしているデイリリーアートサーカス(同2013実行委員会主催)が9月30日、久慈湊小学校(中居澄江校長・児童192人)に来校。1~3年の児童85人がワークショップを体験しました。校庭には、巨人などの風船人形や、活動に賛同した作家のアート作品が展示されたほか、絵やメッセージを自由に書ける大きな布や、ブロック玩具を使ってぴったり100

%の作品を作るコーナーなども設置。児童たちは夢中になって作品に触れ、全身でアートを体感していました。主催者代表で作家の開發好明さんは「みんな楽しそうでした。良かったです。ワークショップでの子どもの発想力には驚きました」と自身も創作への刺激を受けた様子。2年生の大崎晴稀くんは「ブロックや大きな人形でたくさん遊び元気が出ました」と笑顔で答えてくれました。

コミュニティ助成

防災資機材を2団体が整備



宝くじマスコット
クーちゃん

幸町自主防災会(久慈信会長)と宇部本町自主防災会(宇部紘会長)はこのたび、(財)自治総合センターが実施する宝くじの助成制度を活用し、災害時などに活用できる防災資機材を整備しました。

宝くじの収入は、地域団体が行う活動を推進し、地域の防災活動にも役立てられています。



幸町自主防災会(左)と宇部本町自主防災会(右)が整備した防災資機材